



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月2日
東上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所
コード番号 9008 URL https://www.keio.co.jp/代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康
社長執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 上野 崇宏 (TEL) 042-337-3135
経理担当課長

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	138,249	△36.5	△16,481	—	△15,891	—	△13,515	—
2020年3月期第2四半期	217,833	0.1	23,960	1.4	23,090	△2.8	15,915	5.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △16,596百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 15,721百万円(△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△110.69	—
2020年3月期第2四半期	130.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	916,501	353,430	38.6
2020年3月期	876,691	373,454	42.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 353,322百万円 2020年3月期 373,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	27.50	52.50
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	△25.1	△25,000	—	△23,000	—	△28,000	—	△229.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	128,550,830株	2020年3月期	128,550,830株
2021年3月期2Q	6,449,859株	2020年3月期	6,449,347株
2021年3月期2Q	122,101,225株	2020年3月期2Q	122,102,474株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】6ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	217,833	138,249	△79,583	△36.5	433,669
連結営業利益又は 連結営業損失(△)	23,960	△16,481	△40,441	—	36,024
連結経常利益又は 連結経常損失(△)	23,090	△15,891	△38,981	—	34,684
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	15,915	△13,515	△29,430	—	17,875
連結EBITDA	41,734	878	△40,855	△97.9	72,292
連結減価償却費	17,571	17,123	△448	△2.6	35,862

(注) 連結EBITDAは、連結営業利益又は連結営業損失 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内個人消費の低迷が長期化するなど、依然として厳しい状況が続いております。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、一部では持ち直しの動きがみられるものの、引き続き国内外の感染症の動向や経済環境の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループの事業活動においても、訪日外国人旅行客数の激減や外出自粛に加え、緊急事態宣言に伴う営業時間短縮や休業等の実施などにより、4月および5月を中心に大きな影響を受けました。その後は徐々に回復しているものの、感染再拡大に伴い不要不急の外出を控える動きや消費者行動の変化の影響などが続きました。当社グループは、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し鉄道をはじめとした事業の継続に努めるとともに、お客様に安心・安全にご利用いただけることを最優先に、「新しい生活様式」に適応しながら、業績回復に向けた諸施策を実施いたしました。

これらの結果、連結営業収益は、その他業を除く各セグメントで減収となり、1,382億4千9百万円(前年同期比36.5%減)、連結営業損失は、164億8千1百万円となりました。連結経常損失は158億9千1百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は、135億1千5百万円となりました。

なお、連結EBITDAは、8億7千8百万円(前年同期比97.9%減)となりました。

また、連結減価償却費は、171億2千3百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

②当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は営業損失(△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	67,502	40,921	△39.4	11,434	△10,698	—
流通業	82,028	57,153	△30.3	2,588	△1,011	—
不動産業	20,840	19,442	△6.7	4,971	4,929	△0.9
レジャー・サービス業	38,823	9,481	△75.6	3,350	△11,156	—
その他業	25,725	26,086	1.4	1,666	1,488	△10.7
計	234,919	153,084	△34.8	24,012	△16,447	—
連結修正	△17,086	△14,834	—	△52	△33	—
連結	217,833	138,249	△36.5	23,960	△16,481	—

(運輸業)

鉄道事業では、緊急事態宣言解除後は徐々に回復しているものの外出自粛等の影響があったため、旅客運輸収入が39.6%減(うち定期32.1%減、定期外45.7%減)となりました。また、バス事業においても、路線・高速などで減収となりました。これらの結果、営業収益は409億2千1百万円(前年同期比39.4%減)、営業損失は106億9千8百万円となりました。

(流通業)

百貨店業およびショッピングセンター事業では、食料品などの需要は順調に回復しているものの、営業時間短縮や休業に加え、前年度の消費税率引上げ前の駆け込み需要による反動減などもあり減収となりました。また、ストア業では、スーパーマーケット事業で増収となったものの、コンビニ・売店事業における営業時間短縮や休業、外出自粛の影響などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は571億5千3百万円(前年同期比30.3%減)、営業損失は10億1千1百万円となりました。

(不動産業)

不動産賃貸業では、前年度に取得した物件の寄与などがあったものの、外出自粛や、店舗や施設における営業時間短縮、休業の影響などにより減収となりました。また、不動産販売業では、投資用マンションやリノベーション物件の売上減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は194億4千2百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益は49億2千9百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、高山グリーンホテル新館「桜凜閣」が開業したほか札幌エリア等で徐々に回復が見られるものの、東京エリアを中心に厳しい状況が継続し、減収となりました。旅行業では、外出自粛の影響や夏季の旅行需要の減退に加え、営業時間短縮や休業の実施もあり減収となりました。広告代理業では、大規模イベント等の中止に伴う受注減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は94億8千1百万円(前年同期比75.6%減)、営業損失は111億5千6百万円となりました。

(その他業)

建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は260億8千6百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は営業費用が増加したことなどにより14億8千8百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	212,689	134,619	△36.7
	定期外	〃	139,226	78,167	△43.9
	計	〃	351,915	212,786	△39.5
旅客運輸収入	定期	百万円	18,655	12,666	△32.1
	定期外	〃	23,404	12,719	△45.7
	計	〃	42,059	25,385	△39.6

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	44,131	26,986	△38.8	84,848
	バス事業	18,829	11,848	△37.1	36,222
	タクシー業	6,183	3,837	△37.9	12,133
	その他	1,278	1,048	△18.0	2,557
	消去	△2,920	△2,800	—	△6,101
	営業収益	67,502	40,921	△39.4	129,659
	営業利益又は営業損失(△)	11,434	△10,698	—	13,345
流通業	百貨店業	43,924	21,447	△51.2	84,768
	ストア業	25,205	24,862	△1.4	51,166
	書籍販売業	2,918	2,807	△3.8	6,089
	ショッピングセンター事業	7,324	6,344	△13.4	14,612
	その他	5,990	4,509	△24.7	11,883
	消去	△3,334	△2,819	—	△6,340
	営業収益	82,028	57,153	△30.3	162,180
	営業利益又は営業損失(△)	2,588	△1,011	—	4,400
不動産業	不動産賃貸業	18,433	18,111	△1.7	36,973
	不動産販売業	7,593	5,489	△27.7	17,246
	その他	1,327	952	△28.3	2,799
	消去	△6,514	△5,111	—	△11,686
	営業収益	20,840	19,442	△6.7	45,333
	営業利益又は営業損失(△)	4,971	4,929	△0.9	9,199
レジャー・サービス業	ホテル業	27,462	9,082	△66.9	52,814
	旅行業	7,803	699	△91.0	13,186
	広告代理業	5,631	3,397	△39.7	13,162
	その他	3,444	1,829	△46.9	6,377
	消去	△5,519	△5,527	—	△11,451
	営業収益	38,823	9,481	△75.6	74,088
	営業利益又は営業損失(△)	3,350	△11,156	—	4,343
その他業	ビル総合管理業	11,544	11,684	1.2	27,070
	車両整備業	4,041	3,669	△9.2	10,691
	建築・土木業	6,677	6,730	0.8	22,670
	その他	4,410	4,182	△5.2	8,924
	消去	△947	△180	—	△2,322
	営業収益	25,725	26,086	1.4	67,035
	営業利益又は営業損失(△)	1,666	1,488	△10.7	5,759

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
総資産	876,691	916,501	39,810
負債	503,236	563,070	59,833
純資産	373,454	353,430	△20,023
負債及び純資産	876,691	916,501	39,810
有利子負債	329,501	407,502	78,000

(注)有利子負債は、借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債により算出しております。

当第2四半期連結会計期間の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当面の資金需要に対応可能な水準まで手元資金を拡充したことなどにより398億1千万円増加し、9,165億1百万円となりました。

負債は、社債やコマーシャル・ペーパーの発行などにより598億3千3百万円増加し、5,630億7千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより200億2千3百万円減少し、3,534億3千万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の有利子負債は4,075億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：億円)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (予想)	増減率
連結営業収益	4,336	3,250	△25.1%
連結営業利益又は 連結営業損失(△)	360	△250	—
連結経常利益又は 連結経常損失(△)	346	△230	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	178	△280	—
連結E B I T D A	722	104	△85.6%
連結減価償却費	358	349	△2.7%

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益又は連結営業損失 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

(単位：億円)

	営業収益		営業利益又は営業損失(△)	
	当連結会計年度 (予想)	対前期増減率	当連結会計年度 (予想)	対前期増減率
		%		%
運輸業	906	△30.1	△178	—
流通業	1,291	△20.4	△12	—
不動産業	464	2.4	91	△1.1
レジャー・サービス業	338	△54.4	△189	—
その他業	647	△3.5	46	△20.1
計	3,649	△23.7	△242	—
連結修正	△398	—	△7	—
連結	3,250	△25.1	△250	—

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により業績が大きく変動することが想定され、通常の事業活動が見通せない状況を踏まえ配当予想とともに未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき算出いたしましたので公表いたします。

なお、当業績予想は直近の基調が継続するものとして算出しており、実際の状況により大きく変動する可能性があります。今後の状況を踏まえ再度修正が必要となる場合には、開示が可能になり次第、すみやかに公表いたします。

連結営業収益は3,250億円(前期比25.1%減)を見込んでおります。セグメント別に見ますと、運輸業は、鉄道事業やバスの輸送人員は緩やかな回復基調で推移するものの、906億円(前期比30.1%減)を見込んでおります。流通業は、百貨店業における国内消費は徐々に回復基調が続くものの、1,291億円(前期比20.4%減)を見込んでおります。不動産業は、リノベーション物件の売上増などにより、464億円(前期比2.4%増)を見込んでおります。レジャー・サービス業は、需要の機会を捉え徐々に回復するものの、ホテル業において訪日外国人旅行客数の激減が当面継続することなどを想定し、338億円(前期比54.4%減)を見込んでおります。その他業は、ビル総合管理業や車両整備業の受注減などにより、647億円(前期比3.5%減)を見込んでおります。

連結営業損失は250億円、連結経常損失は230億円、親会社株主に帰属する当期純損失は280億円を見込んでおります。連結E B I T D Aは104億円(前期比85.6%減)、連結減価償却費は349億円(前期比2.7%減)を見込んでおります。

なお、中間配当金は1株当たり20円、期末配当予想は1株当たり20円(年間配当金合計40円)といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,979	90,116
受取手形及び売掛金	35,249	25,935
有価証券	2,000	—
商品及び製品	11,086	11,518
仕掛品	25,640	25,522
原材料及び貯蔵品	2,246	2,258
その他	8,949	9,455
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	125,142	164,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	344,392	339,381
土地	231,165	234,406
建設仮勘定	36,304	40,808
その他（純額）	48,269	44,895
有形固定資産合計	660,131	659,492
無形固定資産	13,340	13,669
投資その他の資産		
投資有価証券	48,169	44,204
その他	30,044	34,470
貸倒引当金	△138	△131
投資その他の資産合計	78,076	78,543
固定資産合計	751,548	751,704
資産合計	876,691	916,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,619	13,448
短期借入金	70,606	69,665
1年内償還予定の社債	—	20,000
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	5,640	2,607
引当金	4,544	6,858
その他	85,300	68,982
流動負債合計	182,712	211,563
固定負債		
社債	130,000	150,000
長期借入金	128,894	137,836
退職給付に係る負債	21,713	24,042
その他	39,916	39,628
固定負債合計	320,524	351,507
負債合計	503,236	563,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,012	42,012
利益剰余金	286,271	269,398
自己株式	△19,552	△19,555
株主資本合計	367,755	350,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,052	2,623
為替換算調整勘定	3	2
退職給付に係る調整累計額	360	△183
その他の包括利益累計額合計	5,416	2,443
非支配株主持分	282	107
純資産合計	373,454	353,430
負債純資産合計	876,691	916,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益	217,833	138,249
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	169,039	130,952
販売費及び一般管理費	24,833	23,777
営業費合計	193,873	154,730
営業利益又は営業損失(△)	23,960	△16,481
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	659	688
助成金等収入	—	1,680
雑収入	370	360
営業外収益合計	1,041	2,738
営業外費用		
支払利息	1,585	1,553
持分法による投資損失	42	252
雑支出	283	342
営業外費用合計	1,911	2,148
経常利益又は経常損失(△)	23,090	△15,891
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,779
退職給付制度改定益	—	1,748
工事負担金等受入額	32	222
その他	1,714	91
特別利益合計	1,747	5,841
特別損失		
固定資産除却損	470	323
退店補償金	35	255
固定資産圧縮損	28	221
その他	338	254
特別損失合計	872	1,055
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	23,965	△11,104
法人税等	8,059	2,519
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,905	△13,623
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	15,915	△13,515

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,905	△13,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108	△2,428
退職給付に係る調整額	△288	△544
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1
その他の包括利益合計	△184	△2,973
四半期包括利益	15,721	△16,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,731	△16,488
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	67,502	82,028	20,840	38,823	25,725	234,919	△17,086	217,833
セグメント利益	11,434	2,588	4,971	3,350	1,666	24,012	△52	23,960

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	40,921	57,153	19,442	9,481	26,086	153,084	△14,834	138,249
セグメント利益 又は損失(△)	△10,698	△1,011	4,929	△11,156	1,488	△16,447	△33	△16,481

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。